

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

## 事業名 中部航空宇宙産業技術センター（C-ASTEC）費

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

商工労働部 航空宇宙産業課 産業振興係 電話番号：058-272-1111（内 2937）

E-mail：[c11354@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11354@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 1,000 千円（前年度予算額：1,000 千円）

< 財源内訳 >

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,000	0	0	0	0	0	0	0	1,000
要求額	1,000	0	0	0	0	0	0	0	1,000
決定額	1,000	0	0	0	0	0	0	0	1,000

## 2 要求内容

### （1）要求の趣旨（現状と課題）

- ・中部地域は、大手航空機メーカーの主力工場が立地し、我が国の航空機関連産業の一大集積拠点を形成している。
- ・大手メーカーの生産増強に対応し、部品加工等を担う地域の中堅・中小企業においても生産能力の増強を進めているものの、大手メーカーでは、コスト面の問題から海外調達が進んでいる。
- ・近年では、航空宇宙分野から素材革新等の、先導的技術の利活用に関する地域企業の期待・ニーズが急速に高まってきている。

### （2）事業内容

- ・「世界的な産業技術の中核圏域」を目指し、既存産業の技術の高度化とフロンティア技術分野の振興に積極的に取り組む(一社)中部航空宇宙産業技術センター（C-ASTEC）の運営を支援し、県内航空宇宙産業の振興を図る。

### 【(一社)中部航空宇宙産業技術センター（C-ASTEC）概要】

#### （センターの目的）

中部地域に世界的な航空宇宙産業クラスター形成を実現するため、産学官

連携のもと航空宇宙産業及び技術の振興に関する事業を総合的に推進するとともに、集積する他産業との融合化を図り、中部地域のものづくり産業の高度な発展に寄与する。

(実施事業)

調査・研究事業                      情報収集・提供及び普及啓発事業  
技術支援事業                      人材育成事業  
国内外関係機関との連携及び交流事業  
クラスター形成とともに他産業との融合化支援事業

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・(一社)中部航空宇宙産業技術センターでは、中部地域の航空宇宙産業における「国内外からの受注拡大」「人材力の強化」「産学官連携の強化及び新技術・新分野への挑戦」などの重点事業を位置づけられており、本県における岐阜県成長・雇用戦略(平成25年度策定・平成29年度改定)で掲げる航空宇宙産業施策と合致するため、当センターの会員として年会費を負担する。

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額(千円)	事業内容の詳細
負担金	1,000	(一社)中部航空宇宙産業技術センターに対する負担金
合計	1,000	

### 決定額の考え方

### 4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「岐阜県成長・雇用戦略」(平成25年度策定・平成29年度改定)で掲げる航空宇宙産業振興戦略

(2) 国・他県の状況

- ・愛知県、三重県、名古屋市も、(一社)中部航空宇宙産業技術センターに対する負担金対応あり。

(3) 後年度の財政負担

- ・(一社)中部航空宇宙産業技術センターに対する事業計画と他県の状況をふまえて対応。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業
継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 中部地域における航空宇宙産業発展と地域産業活性化を目指す(一社)中部航空宇宙産業技術センターの運営を支援することにより、県内航空宇宙産業の振興を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
県内航空機関連産業の製造品出荷額等(億円)	1,691 (H19)	2,678 (H28)	2,217 (H29)	2,747 (H30)	4,000 (R3)	68.7%

指標を設定することができない場合の理由

--

### （前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
 販路開拓・新市場開拓（エンジンフォーラム神戸 2020 での事業活動、コーディネータによる企業の商談支援）  
 人材育成（航空機製造技能者育成講座＜構造組立初級＞について、VRテクノセンター等との連携講座の開催、大学連携人材養成講座）  
 中核企業の創出（クラスター形成に向けた中核企業の支援）  
 認証取得支援（認証取得に向けた研修会の開催）  
 国際戦略総合特区形成支援事業 など

### （前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
 フランス 3 クラスター、グレーター・コヤ・インシアティブ協議会及び(一社)中部航空宇宙産業技術センターの 5 者による MOU 締結（H29.9）等を契機としたアジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区事業の活発化  
 人材育成や中核企業の創出・育成による世界市場における競争力ある体制の構築  
 国際認証の取得による受注機会の増加

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ：必要性が高い、：必要性が低い</li> </ul>	
(評価)	<p>(一社)中部航空宇宙産業技術センターの令和2年度事業計画では、中部地域の航空宇宙産業における「国内外からの受注拡大」「人材力の強化」「産学官連携の強化及び新技術・新分野への挑戦」などが重点事業に位置づけられており、本県が岐阜県成長・雇用戦略で掲げる航空宇宙産業振興策と合致している。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	<p>県内航空機関連産業の製造品出荷額等が平成19年の1,691億円から平成30年は2,747億円(+62.4%)に増加している。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ：効率化は図られている、：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価)	<p>負担金のため非該当</p>

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症拡大による航空宇宙関連業界へ及ぼす影響を踏まえ、引き続き関係機関と連携して対応していく。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか (一社)中部航空宇宙産業技術センターの事業が、中部地域、特に本県の航空宇宙産業の振興に資するものとなるよう、本県が取り組む当該分野にかかる施策との連携や県内企業のニーズが反映されるよう、同センターへ働きかけていく。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉦業振興費

## 事業名 財団法人岐阜かかみがはら航空宇宙博物館運営費負担金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 航空宇宙産業課 企画連携係 電話番号：058-272-1111 (内 2939)

E-mail：[c11354@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11354@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 8,000 千円 (前年度予算額：10,000 千円)

< 財源内訳 >

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年額	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
要求額	8,000	0	0	0	0	0	0	0	8,000
決定額	8,000	0	0	0	0	0	0	0	8,000

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・県と各務原市では、将来の航空宇宙産業を担う人材の育成を図り、もってモノづくり産業全体の振興と地域の活性化に寄与することを目的として、「かかみがはら航空宇宙科学博物館」のリニューアルを共同で進めてきた。
- ・リニューアル後は、「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」に改称し、県と市の共同設置による公の施設として位置付けるため、平成29年6月議会で岐阜かかみがはら航空宇宙博物館条例(平成29年岐阜県条例第30号及び平成29年各務原市条例第16号)を制定し、指定管理者制度を導入することを決定した。
- ・県と市では、専門家の知見や民間ノウハウを十分活用することができる運営管理体制を整備するため、(一財)岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を共同で設立するとともに、供用を開始する平成30年3月24日から平成33年度末までの5か年度を指定期間として、財団を博物館の指定管理者に指定した。
- ・財団は、博物館のリニューアル・オープンにあわせて公益認定を受け、公益財団法人化を図るとともに、博物館の指定管理業務とあわせて、航空宇宙に関する教育普及事業や航空宇宙産業の振興及び人材育成等の各種公益事業を実施しており、財団の運営費を県と市から負担金として交付する。

( 2 ) 事業内容

負担金：8,000 千円

財団の運営管理に必要な以下の経費について、県と市が半額ずつを負担する。

( 運営管理費全体額 )

組織管理費	：	3,636,720 円
職員人件費	：	9,267,927 円
理事会等運営費	：	826,021 円
一般管理費	：	2,129,692 円
事業推進費	：	139,640 円

計 16,000,000 円

県と市の負担額 各 8,000,000 円

( 3 ) 県負担・補助率の考え方

博物館を共同で運営管理することなどを目的に、県と市が共同で設立した財団に対する負担金であることから、県と市が同額を負担する。

( 4 ) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額 (千円)	事業内容の詳細
負担金	8,000	運営費負担金
合計	8,000	

**決定額の考え方**

4 参考事項

( 1 ) 事業主体及びその妥当性

平成 29 年 3 月に改訂した「岐阜県成長・雇用戦略 2017」において、航空宇宙産業を県の成長産業に位置付けるとともに、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を活用して、「小中学生の航空宇宙に対する興味の喚起と同産業への将来の就業促進」を図ることを具体的な取組として掲げている。

(公財)岐阜かかみがはら航空宇宙博物館は、博物館を共同で運営管理するとともに、航空宇宙に関する知識、技術等の普及及び啓発を行うことを通じて、将来の航空宇宙産業を担う人材を育成し、もって航空宇宙分野の科学技術の振興に寄与することを目的に、県と市が共同で設立した財団であることから、その運営費については、県と市が同額を負担する。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業
継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

### 指標を設定することができない場合の理由

県と各務原市が共同で設立した財団法人の運営費に関する予算要求であり、指標の設定になじまない。

### （前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
博物館のリニューアルオープン（平成30年3月24日）にあわせて、指定管理業務を開始するとともに、公益財団法人化を図り、航空宇宙に関する教育普及事業や航空宇宙産業の振興及び人材育成等の各種公益事業を行った。

### （前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
財団の評議員会及び理事会を開催して、法人運営の方針を決定するとともに、財団職員を雇用することにより、航空宇宙に関する教育普及事業等を実施した。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ：必要性が高い、：必要性が低い</li> </ul>	
(評価)	平成29年3月に改訂した「岐阜県成長・雇用戦略2017」において、航空宇宙産業を県の成長産業に位置付けるとともに、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を活用して、「小中学生の航空宇宙に対する興味の喚起と同産業への将来の就業促進」を図ることを具体的な取組として掲げている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、 ：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	財団の評議員会及び理事会を開催して、法人運営の方針を決定するとともに、財団職員を雇用することにより、航空宇宙に関する教育普及事業等を実施した。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ：効率化は図られている、：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価)	各種イベント業務の実施に伴い必要となる設営業務を外部委託し、学芸職員は企画・広報業務等に集中するなど、限られた人的資源の中で効率的に事業を実施している。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 財団の評議員会及び理事会において、意見として出された改善内容等について、博物館の展示内容や自主事業の取組みに反映していく必要がある。 また、人員配置の最適化や委託業務の見直しを行うなど、経費節減の徹底を図っていく必要がある。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 展示内容や教育プログラム等の充実、各種イベントの実施など、博物館の魅力・集客効果の向上を図るとともに、航空宇宙に関する教育普及事業や航空宇宙産業の振興及び人材育成等の各種事業を実施する。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【 課 】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	

# 予 算 要 求 資 料

令和 3 年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

## 事業名 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館管理費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 航空宇宙産業課 企画連携係 電話番号：058-272-1111 (内 2937)

E-mail：[c11354@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11354@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 76,604 千円 (前年度予算額：76,604 千円)

< 財源内訳 >

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年額	76,604	35,160	0	1,862	0	0	0	0	39,582
要求額	76,604	35,160	0	1,023	0	0	0	0	40,421
決定額	76,604	35,160	0	1,023	0	0	0	0	40,421

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・県と各務原市では、将来の航空宇宙産業を担う人材の育成を図り、もってモノづくり産業全体の振興と地域の活性化に寄与することを目的として、「かかみがはら航空宇宙科学博物館」のリニューアルを共同で進めてきた。
- ・リニューアル後は、「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」に改称し、県と市の共同設置による公の施設として位置付けるため、平成 29 年 6 月議会で岐阜かかみがはら航空宇宙博物館条例 (平成 29 年岐阜県条例第 30 号及び平成 29 年各務原市条例第 16 号) を制定し、指定管理者制度を導入することを決定した。
- ・博物館の運営管理にあたっては、供用を開始した平成 30 年 3 月 24 日から令和 3 年度末までの 5 か年度を期間として、(公財)岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を指定管理者に指定しており、指定管理業務に必要な経費を負担する。

### (2) 事業内容

指定管理により博物館の運営管理を行うために必要な令和 3 年度の指定管理料を指定管理者に支出する。

#### 【博物館の概要】

名 称 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館

愛 称 空宙博 (そらはく)

所 在 地 各務原市下切町五丁目 1 番地

設置目的 航空宇宙に関する資料を収集し、及び展示し、並びに航空宇

宙技術史及び航空宇宙開発への挑戦の物語を伝えることにより、将来の航空宇宙産業を担う人材の育成を図り、もって産業の振興及び地域の活性化に寄与する。

敷地面積 77,928 m<sup>2</sup>

(うち来館者用駐車場：26,789 m<sup>2</sup>(564台分))

施設の内容、構造、面積及び用途

施設	建物の構造	面積	用途
本館	鉄骨造2階建	11,996 m <sup>2</sup> (うち展示面積 9,421 m <sup>2</sup> )	エントランス、ウエルカムルーム、オリエンテーションルーム、航空・宇宙分野展示室、シアタールーム、ショップ、カフェ、休憩コーナー、事務室等
第1収蔵庫	鉄骨造平家建	663 m <sup>2</sup>	展示物等保管、修復作業
第2収蔵庫	鉄骨造平家建	580 m <sup>2</sup>	展示物等保管、修復作業

(3) 県負担・補助率の考え方

博物館は、県と市が共同で設置する公の施設であり、その管理費については、県と市が折半して負担する。

(4) 類似事業の有無

有(岐阜産業会館管理費)

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額(千円)	事業内容の詳細
委託料	76,035	指定管理料
負担金	569	火災共済保険に係る負担金
合計	76,604	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 事業主体及びその妥当性

平成29年3月に改訂した「岐阜県成長・雇用戦略2017」において、航空宇宙産業を県の成長産業に位置付けるとともに、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を活用して、「小中学生の航空宇宙に対する興味の喚起と同産業への将来の就業促進」を図ることを具体的な取組として掲げている。

平成27年9月に策定した「リニューアル基本構想」において、リニューアル後の博物館は、県と市が共同で施設を所有し、共同で運営管理を行う方針を示しており、県と市が事業費の半額ずつを負担して共同で実施することが妥当である。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
将来の航空宇宙産業を担う人材の育成を図り、もってモノづくり産業全体の振興と地域の活性化に寄与することを目的として、岐阜県と各務原市が共同で設置した「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」について、指定管理者制度を導入することで、効果的かつ効率的な運営管理を行うとともに、入館利用の促進及び入館者サービスの向上を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	リニューアル前	現在値	目標	達成率
博物館の来館者 （人）	123,027人 （H26）	61,278人 （R2.10末）	300,000人 （R3）	20.4%

指標を設定することができない場合の理由

### （前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
入館者数：26.9万人（R1）  
小中学生向け体験教室の実施：229回、参加者4,183人（R1）  
（水ロケット教室、紙飛行機教室など）

### （前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
リニューアルから2年目の前年度の入館者数は26.9万人となった。子どもたちをメインターゲットとする博物館において、多数の小中学生向け講座を実施することにより、将来の航空宇宙産業を担う人材育成を図った。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ：必要性が高い、：必要性が低い</p>	
(評価)	<p>平成 29 年 3 月に改訂した「岐阜県成長・雇用戦略 2017」において、航空宇宙産業を県の成長産業に位置付けるとともに、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を活用して、「小中学生の航空宇宙に対する興味の喚起と同産業への将来の就業促進」を図ることを具体的な取組として掲げている。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、 ：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価)	<p>リニューアルオープン後の入館者数が、平成 30 年度 43.3 万人、令和元年度 26.9 万人となるなど、順調に推移してきた。コロナウイルスの影響下にある令和 2 年度でもリニューアル開始前と同程度であり、事業の効果は高いと言える。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ：効率化は図られている、：向上の余地がある</p>	
(評価)	<p>県と各務原市とが共同で「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」の運営管理を行うため、リニューアルオープンにあたり指定管理制度を導入し、効率的な管理運営を実施している。</p>

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる来館者数の増加のため、展示物や教育プログラムの充実など、博物館のさらなる魅力向上が重要である一方、現在の厳しい経済情勢のなか、徹底した経費削減に向け施設運営内容の見直しを進めていくことが必要。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 展示内容や教育プログラム等の充実、各種イベントの実施など、博物館の魅力・集客効果の向上を図りつつ、博物館のより一層効率的な運営管理を行う。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉦業振興費

## 事業名 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館運営管理協議会負担金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 航空宇宙産業課 企画連携係 電話番号：058-272-1111 (内 2939)

E-mail : [c11354@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11354@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 120千円 (前年度予算額：120千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年額	120	0	0	0	0	0	0	0	120
要求額	120	0	0	0	0	0	0	0	120
決定額	120	0	0	0	0	0	0	0	120

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・県と各務原市では、将来の航空宇宙産業を担う人材の育成を図り、もってモノづくり産業全体の振興と地域の活性化に寄与することを目的として、「かかみがはら航空宇宙科学博物館」のリニューアルを共同で進めてきた。
- ・リニューアル後は、「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」に改称し、県と市の共同設置による公の施設として位置付けるため、平成29年6月議会で岐阜かかみがはら航空宇宙博物館条例(平成29年岐阜県条例第30号及び平成29年各務原市条例第16号)を制定し、指定管理者制度を導入することを決定した。
- ・また、県と市では、博物館の運営・維持管理等に関する事務を県と市が共同で管理及び執行するため、平成29年4月に地方自治法に基づく「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館運営管理協議会」を共同で設置している。
- ・平成30年度には、指定管理者による博物館の管理運営状況等を評価する「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館指定管理者評価員会議」を設置しており、同会議の開催経費など、協議会の運営費を県と市から負担金として交付する。

( 2 ) 事業内容

負担金：120 千円

協議会の運営費について、県と市が半額ずつを負担する。

( 運営費全体額 )

報償費 : 105 千円

旅 費 : 104 千円

需用費 : 2 千円

役務費 : 7 千円

使用料 : 22 千円

計 240 千円 県と市の負担額 各 120 千円

( 3 ) 県負担・補助率の考え方

博物館の運営・維持管理等に関する事務を、県と市が共同で管理及び執行することを目的に設置した協議会であることから、県と市が同額を負担する。

( 4 ) 類似事業の有無

有 ( 岐阜産業会館運営管理協議会 )

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額 ( 千円 )	事業内容の詳細
負担金	120	運営管理協議会負担金
合 計	120	

決定額の考え方

4 参考事項

( 1 ) 事業主体及びその妥当性

平成 2 9 年 3 月に改訂した「岐阜県成長・雇用戦略 2 0 1 7」において、航空宇宙産業を県の成長産業に位置付けるとともに、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を活用して、「小中学生の航空宇宙に対する興味の喚起と同産業への将来の就業促進」を図ることを具体的な取組として掲げている。

平成 2 7 年 9 月に策定した「リニューアル基本構想」において、リニューアル後の博物館は、県と市が共同で施設を所有し、共同で運営管理を行う方針を示しており、県と市が事業費の半額ずつを負担して共同で実施することが妥当である。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業
継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」の指定管理者による管理運営状況等の評価など、博物館の運営・維持管理等に関する事務を各務原市と共同で管理及び執行する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値	目 標	達成率
	(H )	(H ) (H )	(H )	(H )	%

指標を設定することができない場合の理由

博物館の運営・維持管理等に関する事務を、県と市が共同で管理及び執行することを目的に設置した協議会の運営費に関する予算要求であり、指標の設定になじまない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
 令和元年7月18日 令和元年度第1回指定管理者評価員会議を開催  
 令和2年2月25日 令和元年度第2回指定管理者評価員会議を開催

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
 指定管理者評価員会議を開催し、有識者から得られた評価及び意見について、博物館の運営管理に反映して改善を行った。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）                  ：必要性が高い、      ：必要性が低い</p>	
(評価)	<p>県と各務原市が「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」を共同で所有及び運営管理するため、地方自治法に基づき、運営管理協議会を共同で設置しており、指定管理者による博物館の管理運営状況の評価など、博物館の運営・維持管理等に関する事務を共同で管理及び執行する必要がある。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）                  ：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、                  ：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価)	<p>指定管理者評価員会議を開催し、有識者から評価及び意見を聴取した。                  ○</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）                  ：効率化は図られている、      ：向上の余地がある</p>	
(評価)	<p>県と各務原市が共同で指定管理者評価員会議を開催しており、事業の効率化が図られている。                  ○</p>

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項                  平成 30 年 3 月 24 日の博物館全館リニューアル・オープンに伴い、博物館機能の充実を図るとともに、指定管理者制度を導入した。引き続き、指定管理者による博物館の管理運営状況の評価を行うとともに、博物館の運営・維持管理等に関する事務を共同で管理及び執行する必要がある。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか                  博物館の指定管理者による管理運営状況等の評価など、博物館の運営・維持管理等に関する事務を県と市が共同で管理及び執行することで、効果的かつ効率的な運営管理を行うことができる。                  また、展示内容や教育プログラム等の充実、各種イベントの実施など、博物館の魅力・集客効果の向上を図っていく。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	

